

各コースの概要、応募条件

コース	概要	応募条件 *応募時点で、単位取得済みであること。	備考
経済学	経済理論(ミクロ経済学・マクロ経済学)および数量分析(統計学・計量経済学)の学習をコアに据えて、その実証的応用として現代経済社会の諸問題の分析・研究や、その理論的発展として更なる経済理論の研究へと進んでいきます。	とくになし	
統計学	確率・統計の理論と実証に関して、より専門性の高い内容を学習する。	「数理統計ⅠとⅡ」、「計量経済学ⅠとⅡ」は全て優以上であり、専門科目1:「統計ⅠとⅡ」、「ミクロ経済学ⅠとⅡ」、「マクロ経済学ⅠとⅡ」の単位取得済みであること。	
地域研究	現実の経済を歴史・理論・制度・思想も踏まえて多角的に理解する方法を学ぶ。	専門科目1:20単位以上、専門科目2:12単位以上	
経済史	経済史に関する先端的知見と、歴史研究を通じて経済をより深く理解する方法を学び、そのことを通じて経済に対する広い視野と確固として視点を持った人材を育成する。	専門科目1:20単位、ただし「経済史ⅠとⅡ」はいずれも優以上であり、「ミクロ経済学ⅠとⅡ」、「マクロ経済学ⅠとⅡ」、「統計ⅠとⅡ」のうち2科目(ⅠとⅡをセット)で優以上の成績を取得済みであること。	
経営学	現場から本質を掴み出し、論理的に説明し、問題解決に結びつける高度な専門能力を持った「フィールド・ベース・プロフェッショナル」を育成する。	(専門科目1)経営、会計、(専門科目3)経営管理Ⅰ、経営戦略Ⅰ、マーケティングⅠ、経営史Ⅰ、国際経営Ⅰ、技術経営Ⅰ、財務会計Ⅰ、管理会計Ⅰ、生産システムⅠ、雇用システムⅠ、フードシステムⅠ、経営科学Ⅰ、日本経営史Ⅰの15科目のうち、8科目取得済み、およびこれら15科目のうち、成績上位8科目平均が「良」以上、ないし、「優」もしくは「優上」が4つ以上であること。(平均の算出にあたり「優」と「優上」は同一のものとしてカウントすること。)	
数量ファイナンス	特に数理的能力が優れた学生向けに、金融業界でグローバルに活躍できる人材を養成する。	数理統計学Ⅰ、計量経済学Ⅰ、数学Ⅰ、デリバティブなどの数理的科目を3科目以上履修し、全体的に優れた成績を修めていること。また、最低60単位取得済みであること。	